

## 3 章 「学校における食育」の指導事例

### I 小学校

- ・第1学年 学級活動「何でも食べて元気になろう」
- ・第2学年 指導事例「おやつの食べ方を知ろう」
- ・第3学年 指導事例「好き嫌いしないで食べよう」
- ・第4学年 指導事例「1日のスタートは朝ごはんから」
- ・第5学年 指導事例「1食分の食事について考えよう」
- ・第6学年 指導事例「地域に伝わる料理について大切にしよう」

### II 中学校

- ・第1学年 学級活動「中学生のからだと食生活について考えよう」
- ・第1学年 指導事例「生活習慣病と食習慣について考えよう」
- ・第2学年 指導事例「ファストフード店やコンビニエンスストアを賢く使おう」
- ・第3学年 指導事例「食生活の自己管理能力を身につけよう」

### III 高等学校

- ・高校家庭科・学校家庭クラブ活動における地域との連携を踏まえた実践  
作ろう！食べよう！ ～元気朝食レシピができるまで～

### IV 特別支援学校

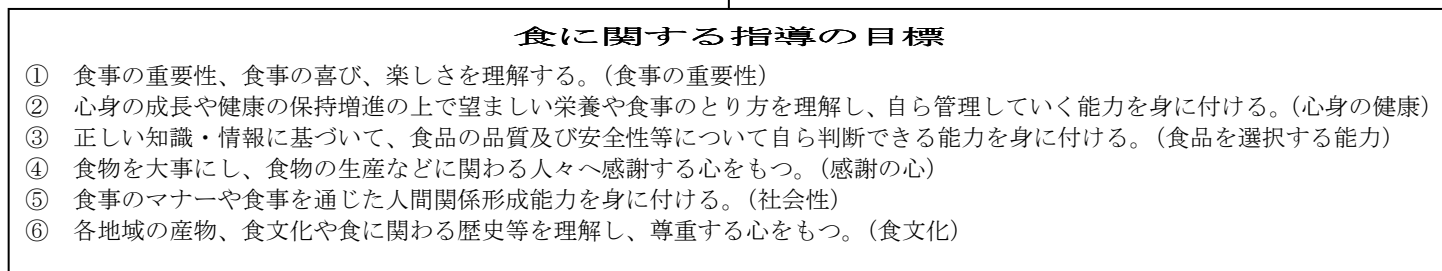
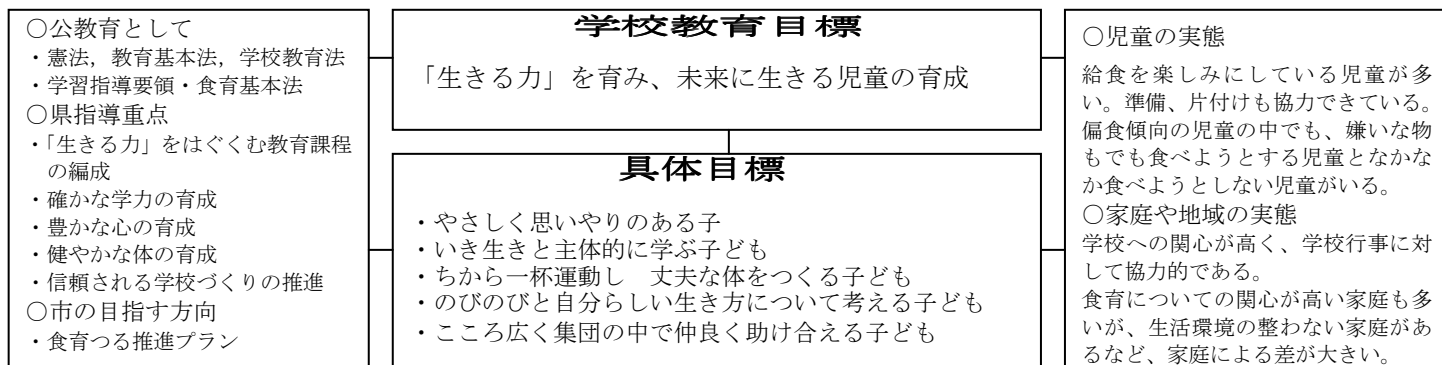
- ・小学部4年 生活単元学習「宿泊生活学習事前学習～カレー作り～」
- ・中学部 生活単元学習「お弁当をつくろう」
- ・高等部 生活単元学習「よく噛んで食べよう」

### V 各教科

(平成19年度～24年度 文科省食育推進事業実践中心校よりの指導事例)

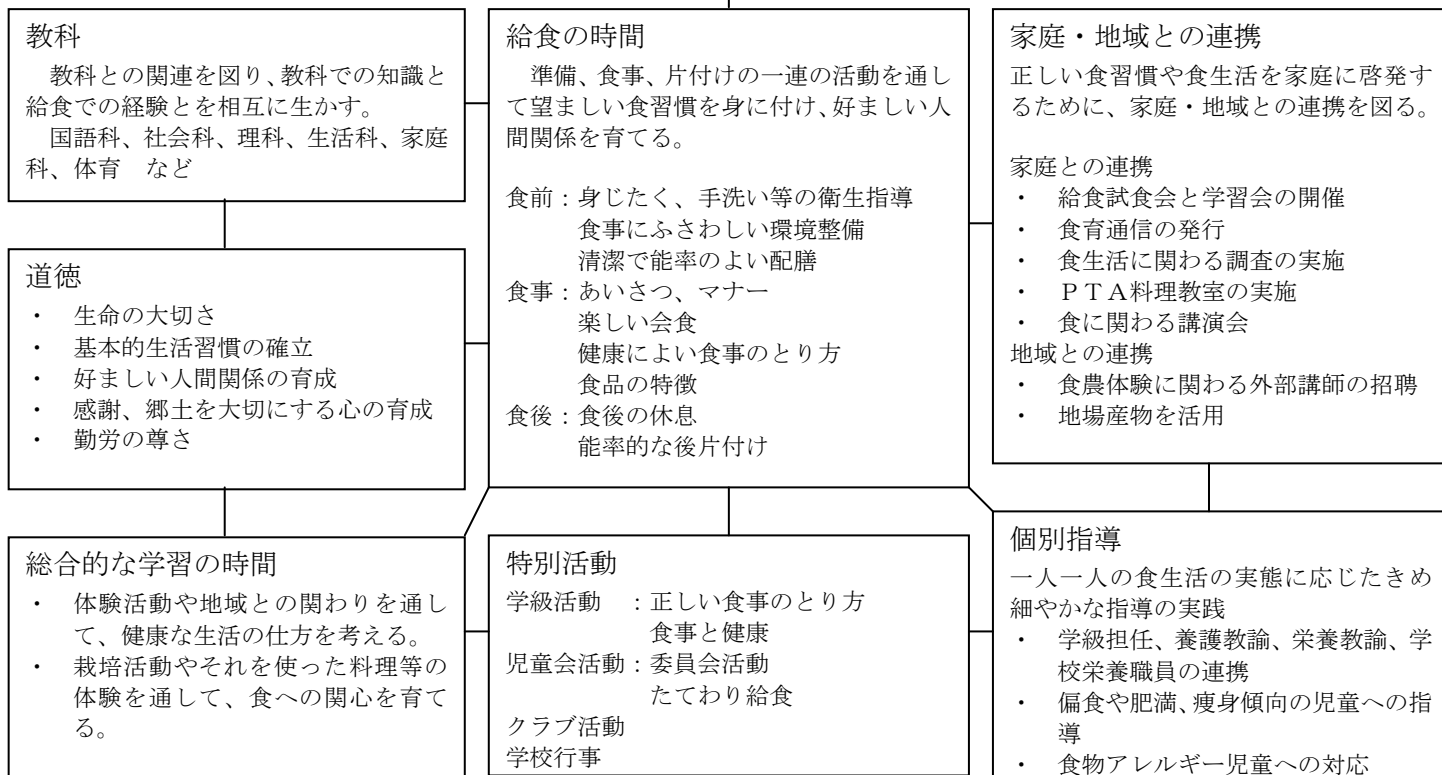
- ・小学校 第3学年 体育科(保健)「毎日の生活と健康」
- ・小学校 第3学年 社会科「調べよう 物を作る仕事」
- ・小学校 第4学年 総合的な学習の時間「昔の食生活について調べよう」
- ・小学校 第5学年 家庭科「元気な毎日と食べ物」
- ・中学校 第1学年 社会科「日本の食糧自給率について考えよう」
- ・中学校 第2学年 道徳「ブタがいた教室」
- ・中学校 第2学年 技術・家庭科「地域の食文化を知ろう」
- ・中学校 第3学年 体育科「健康な生活と病気の予防」
- ・中学校 第3学年 理科「生物の生活とつながり」

# 平成24年度 食に関する指導全体計画例 (小学校)



発達段階に応じた食に関する指導の到達目標		
低学年	中学年	高学年
<ul style="list-style-type: none"> <li>みんなで楽しく食べることができる。</li> <li>食べ物に興味関心を持ち、いろいろな食べ物の名前がわかる。</li> <li>好き嫌いしないで食べようとする。</li> <li>食事を作ってくれた人に感謝して食べることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>食事のマナーを考えて、楽しく食べることができる。</li> <li>健康と食事の関わりについて理解し、いろいろな食べ物を好き嫌いしないで食べようとする。</li> <li>食事に関わる多くの人々や自然の恵みに感謝して食べることができる。</li> <li>衛生的に給食活動ができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>楽しく食事することを通して、豊かな心と望ましい人間関係を育てる。</li> <li>食事が体に及ぼす影響やバランスのよい食事の大切さを理解し、一食分の献立を考えられる。</li> <li>衛生に気を付け簡単な調理ができる。</li> <li>食文化や食品の生産、流通、消費について理解を深める。</li> </ul>

## 指 導 場 面



平成24年度 食に関する指導 年間指導計画例 (小学校)

栄養教諭との連携

		4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
特別活動	食に関する指導	主題	楽しい給食	食事作法	じょうぶな骨や歯	健康によい食事(夏の食生活)	規則正しい食生活	バランスのよい食事	食べ物の栄養①(野菜・果物・いも・米)	健康によい食事(冬の食生活)	食について考えよう	食べ物の栄養②(魚・大豆・海藻)	一年間の反省
		ねらい	給食の決まりについて理解する 進んで当番の活動ができる	基本的な食事の作法を身につける	じょうぶな骨や歯をつくるための食生活を心がける	夏を健康で過ごすための望ましい食習慣を身につける	規則正しい食生活の大切さがわかる	食べ物の働きを知り、バランスよく食べることができる	食べ物の栄養を知り好き嫌いなく何でも食べることができる	冬を健康で過ごすための望ましい食習慣を身につける	給食の歴史や意義について知り、食べ物大切さがわかる	食べ物の栄養を知り好き嫌いなく何でも食べることができる	一年間の給食を振り返って食生活への関心を高める
	※網掛けは、学級活動で行う	指導内容	1年 給食の決まり	基本的な食事のしかた	牛乳を飲もう	おやつとり方	食事の大切さ	食品の3つの仲間	食べ物の名前	寒さに負けない食事	学校給食週間	食べ物の名前	給食の反省
			2年 給食の決まり	はしの使い方	よくかんで食べる	上手なおやつとり方	朝食を食べよう	食品の3つの仲間	野菜を食べよう	寒さに負けない食事	学校給食週間	魚の栄養	給食の反省
			3年 給食の決まり	和食のマナー	カルシウムの働き	夏の食生活	3度の食事	食品の3つの仲間	野菜の2つの仲間	冬休みの食生活	給食ができるまで	大豆の栄養	給食の反省
			4年 給食の決まり	食事のあいさつ	かむことの効果	夏の食生活	朝食の大切さ	バランスよく食べる	野菜の2つの仲間	冬休みの食生活	給食の歴史	海藻の栄養	給食の反省
			5年 楽しい給食の工夫	食事のマナー	カルシウムのとり方	夏の飲み物とおやつ	生活のリズム	バランスよく食べる	米の栄養	かぜに負けない食生活	郷土食・行事食	食物繊維	食生活の反省
		6年 楽しい給食の工夫	会食のマナー	骨粗しょう症	おやつ上手な選び方	栄養・運動・休養	バランスのよい食事	貧血と食生活	かぜに負けない食生活	日本の食糧事情	生活習慣病	食生活の反省	
児童会活動と学校行事		給食委員会(通年)	給食試食会・学習会	たてわり給食		たてわり給食				たてわり給食			
教科	生活	1年											
		2年		ぐんぐんそだてみんなのやさい					収穫祭				
	体育	3年										毎日の生活と健康	
		4年										育ちゆく体とわたし	
		5年										心の健康	
		6年								病気の予防	病気の予防	病気の予防	病気の予防
	理科	3年	たねをまこう		どれくらい育ったかな	花がさいたよ	実がたくさんできたよ						
		4年											
		5年		植物の発芽と生長	魚の誕生		花から実へ				人の誕生		
		6年		動物の体の働き				生き物の暮らしと環境					人と環境
社会	3年					買い物調べをしよう 店に調べにいこう	上手な買い物をするために	やさい・米を作る仕事					
	4年			ごみはどこへ		昔のくらしとまちづくり		わたしたちの県とまちづくり					
	5年			農業の盛んな地域		水産業の盛んな地域					環境を守る人		
	6年	農耕のはじまり						戦争と人々のくらし		世界の中の国々			
家庭	5年			はじめようクッキング 温野菜サラダ				元気な毎日と食べ物 ご飯とみそ汁				家族とほっとタイム 簡単な食べ物	
	6年							工夫しよう楽しい食事			考えようこれからの暮らし		
他教科				4年国語一つの花		5年算数単位量あたりの大きさ		3年国語すがたをかえる大豆・食べ物のひみつを教えます		1年国語ものの名まえ 5年百分率とグラフ			
道徳		5年助け合う心	5年自然環境を大切に		5年家族のぬくもり		5年命のつながり	5年節度ある生活		いただきます(生命尊重)1年	ひろったりんご(4年思いやり)	5年自然との関わり	
総合			5年米を育てよう				5年都留の名水が育む命 ヤマメの飼育・放流	5年水かけ菜を育てよう			外:「ランチメニュー作り」		
すぎのこ学級		やさいをそだてよう			カレー・サラダパーティーをしよう						すぎのこレストランを開こう		
個別指導		偏食 肥満、痩身 食物アレルギー										スポーツ栄養等 (担任、養護教諭、栄養教諭、保護者と連携し、必要に応じて随時実施)	
家庭・地域との連携		献立表、給食だより、食育つうしん、学年だより、給食試食会、食生活学習会、料理教室、食生活実態調査、地場産物の利用											
献立計画		教科・学級活動に対応した献立	行事食	郷土食	旬の食材	地場産物の利用							

## 小学校 第1学年 学級活動 食に関する指導事例

指導者 T1 学級担任  
T2 栄養教諭

題材 何でも食べて元気になろう

内容(2)ーキ 食育の観点を踏まえた学校給食と望ましい食習慣の形成

本時のねらい

- 食べ物の名前がわかり,食べ物は体内での働きで3つのグループに分けられることを知る。
- 元気で大きくなるために,好き嫌いなく食べようと,「めあて」を決める。

指導の計画

### (1) 事前の指導

	主な学習活動	指導上の留意点	資料
帰りの会	○今日の給食献立の確認 ・食べ物の名前調べ ・自分の残したものを確認	・正しく記入できるように注意をする。	給食の写真を掲示

### (2) 本時の展開

	学 習 活 動	指導上の留意点	資料	指導者
導 入 10	○昨日の給食の事を思い出 し, 献立を発表する。  ○食べ物の名前を発表する。  ○考えたことを発表する。	・昨日の給食の献立は何だったか発表させる。  ・その中に入っていた食品の名前を発表させる。 ・給食で, なぜこんなにたくさんのおもな食べ物を使っているのか, 理由を考えさせ発表させる。	昨日の給食の写真 を掲示する。  使われていた食材を 掲示する。  食材カード	T1
	○3つのグループに分けられることを知る。  ○3つのおもな働きを知る。	・食べ物は, 働きで大きく3つのグループに分けられることを伝える。 *体をつくる *体の調子を整える *エネルギーになる	カード 赤の食べ物 緑の食べ物 黄の食べ物 教材 8・9ページ	

展 開	<p>○活動班になり、給食の材料を3つのグループに分ける。</p> <p>・全体で答え合わせをする</p> <p>・自分たちの班は間違えていないか確認しながら答え合わせをする。</p>	<p>・活動班にいくつかの給食で使用した食材を渡し代表者に前に出てきて黒板に貼らせる。</p>	<p>参考用 三色分けの 円の表 学習カード1</p>	T 2
	<p>○このクラスは、給食を残す人がたくさんいて困っていることを調査結果から知る。</p> <p>○なぜ食べられないのか理由を考え、発表させる。</p>	<p>・クラスの実態を知らせる</p> <p>・嫌いな食べ物の働きを再度確認をしながら伝える (野菜 等)</p> <p>・嫌いなものがある</p> <p>・時間がない</p>	<p>アンケート結果 (好き嫌い調査) 教材 10ページ 教材 4・5ページ</p>	T 2 T 2
展 開 25	<p>○学級のみみんなで、「なんでも食べよう大作戦」を考える。</p> <p>○学級みんなで考えた「なんでも食べよう大作戦」から自分の「めあて」を考え、「めあてカード」に記入する。</p>	<p>・班ごとに作戦を考え、ホワイトボードに書き、黒板に貼る。</p> <p>・大作戦を、いくつかにまとめながら整理する。</p> <p>・子どもの課題に合った「めあて」を考えさせる。</p>		T 1 T 2
ま と め 10	<p>○今日の学習でわかったことを振り返り学習カードに記入する。</p> <p>○発表する。</p>	<p>・食べ物にはそれぞれの働きがあり、いろいろなものを食べることで元気な活動をするにつながることを確認する</p> <p>・わかったこと、これからどうしたいのかを「ふりかえり学習カード」に記入させる。学習したことを家族にも伝えさせる。</p>	学習カード2	T 1

(3) 事後指導

・給食時間

「めあてカード」に給食で自分のめあてが達成できたかをチェックし、振り返りができるようにしながら、実践につなげる。達成できたらシールを貼るなど工夫。

## きゅうしょくアンケート



1ねん くみ なまえ

じぶんに、あてはまるものに○をつけてください。

1. きゅうしょくがすきですか？

すき

どちらかでいうとすき

どちらかでいうときらい

きらい

わけがあったらかいてください。( )

2. きゅうしょくをのこさずたべていますか？

いつものこさない

ほとんどのこさない

いつものこす

ほとんどたべない

わけがあったらかいてください。( )

3. きゅうしょくで、すきなメニュー・たべものはなんですか？

( )

4. きゅうしょくで、きれいなメニュー・たべものはなんですか？

( )

5. きゅうしょくをたべるときに、きをつけていることやがんばっ

ていることが あったら、かいてください。

[わけもかけたらかいてください]

-----  
-----  
-----

## 小学校 第2学年 食に関する指導事例

指導者 T1 学級担任  
T2 栄養教諭

題材 おやつを食べ方を知ろう

本時のねらい

○望ましいおやつを食べ方を知る。

○自分のおやつを食べ方を見直し、よりよいおやつを食べ方を実践しようと意欲をもつ。

展開

	学 習 活 動	指 導 上 の 留 意 点	資 料	指 導 者
導 入	○ふだん食べているお菓子を発表する。 ○学習の内容を知る	・ふだんどんなおやつを食べているのか発表させる。 ・本時の学習の内容を知らせる。		T1
展 開	○おやつにはどのような種類があるか発表し、おやつの家看板に書き込む。  ○おやつで食べてみたいと思うおやつを選ぶ ○学習カードに記入する。 ○自分の選んだおやつを発表する。	・おやつにはどんな種類があるか、考えさせる。 ・教材を開かせる ・おやつの家をみておやつにはどのような種類があるのか確かめる。 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">甘いお菓子</span> <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">のみもの</span> <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">くだもの</span> スナック菓子 パンやおにぎりなど ・選んだおやつを学習カードに記入させる。 ・好きなものをたくさん食べたい子どもと、好きなものがいっぱいあるけど考えて食べようとする子どもの2つのグループがあることを	学習教材 12・13ページ  <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">学習カード</span>	T1

	<p>○T1とT2の劇を見ながら、おやつを選び方にどんな問題があったのか発表する。</p> <p>○劇で学習したことを参考にしてもう一度おやつで選ぶ。</p> <p>○最初に選んだおやつと選び直したおやつを理由を発表する。</p>	<p>知らせる。(児童一人一人が本の中のキャラクターと同化できるように進める)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・T1とT2が選んだおやつも発表する。</li> </ul> <p>[教材P12・13・14の内容をT1・T2で劇化して進める]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・おやつのとりの問題点に気付かせるために劇化して示す。</li> </ul> <p>*おやつが多すぎると大切な食事が食べられなくなることに気付かせ、食事とおやつバランスを考えなければならぬことをおさえる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・劇を参考にしながらどう選択すればよいのか助言し、もう一度おやつを選ばせる。</li> <li>・学習カードに記入させる。</li> </ul>	<p>*時間</p> <p>*量</p> <p>*組み合わせ</p> <p>学習カード</p>	<p>T1</p> <p>T2</p> <p>T1</p> <p>T2</p> <p>T2</p> <p>T1</p>
<p>まとめ</p>	<p>○おやつについて気付いたことは何か記入する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童の変容を認め、生活の中でも実践しようとする意欲をもたせる。</li> </ul> <p>*家庭で、おうちの人と「あみだくじゲーム」をしておやつのとりの方についてさらに考えるように促す。</p>	<p>学習カード</p> <p>教材15ページ</p>	<p>T1</p>

評価

- 望ましいおやつを食べ方を理解できたか。
- よりよいおやつを食べ方を実践しようとする意欲がもてたか。



きょうの おやつは ななに？

ねん くみ  
なまえ

## どんな おやつ にしようかな？

(わたしのえらんだおやつ)

(もういちど えらんでみたよ。)

わかったこと、きめたことを書いてみよう！

おうちのひとから、ひとことお願いします。

## 小学校 第3学年 食に関する指導事例

指導者 T1 学級担任  
T2 栄養教諭

主題 好き嫌いしないで食べよう

本時のねらい

- 体内での主な働きの違いによって、食べ物が3つのグループに分けられることを知る。
- 健康な体になるために、好き嫌いしないで残さず食べようとする意欲をもつ。

展開

	学 習 活 動	指 導 上 の 留 意 点	資 料	指 導 者
導 入	○食べ方チェックをする。	○食べ方チェックをさせる。 ・食べ方チェックを進めながら、自分の好き（嫌い）な食べ物（料理）や好き（嫌い）な理由などにも触れる。 ・自分の食べ方を振り返り、今の食事の仕方の課題について考えさせる。	学習教材 6ページ 学習カード	T1
展 開	○食べ方チェックの結果を話し合う。  ○食べ物の3つの働きを知る。	○食べ方チェックのコメントについてふれ、4つの項目について考えさせる。  ○食べ物は、その働きで3つのグループに分けられることを知らせる。 ・黄のグループの食べ物 米、パン、麺など（主に体を動かすエネルギーとなる） ・赤のグループの食べ物 肉、卵、魚、大豆製品、牛乳など（主に体をつくる） ・緑のグループの食べ物 野菜、果物、きのこなど（主に体の調子を整える）	学習教材 6ページ  学習教材 7ページ	T2  T2

	○給食の内容を調べ、3つのグループに分ける。	○今日の給食に使われていた食べ物を、3つのグループに分けさせる。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・給食は、3つのグループの食べ物を上手に組み合わせていることに気付かせる。</li> <li>・主に黄のグループの食べ物 米、パン、麺を使った料理</li> <li>・主に赤のグループの食べ物 肉、卵、魚、大豆製品、牛乳などを使った料理</li> <li>・主に緑のグループの食べ物 野菜を使った料理</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・食べ方チェックの結果を振り返り、体によい食べ方を考えさせる。</li> </ul>	今日の給食 (実物・写真) 学習教材 7～9ページ	T 2
まとめ	○今日の学習のまとめをする。	○3つの働きをもつ食べ物を好き嫌いしないで食べることの大切さが分かり、残さず食べようとする意欲をもたせる	学習カード	T 1

#### 評価

- 体内での主な働きの違いによって、食べ物が3つのグループに分けられることが理解できたか。
- 健康な体になるために、好き嫌いしないで残さず食べようという意欲をもつことができたか。

すききらいしないで食べよう

年 組 ( )

1 自分のすきな食べ物やきらいな食べ物とその理由を書きましょう。

すきな食べ物

すきな理由

きらいな食べ物

きらいな理由

2 食べ方チェックで気付いたことを書きましょう。

--

3 給食に使われていた材料を3つのグループに分けてみましょう。

(今日の給食)

こんだて

黄のグループの食べ物	赤のグループの食べ物	緑のグループの食べ物
こ	こ	こ

4 これまでの自分の食事のしかたを振り返って、これからどのような食事のしかたをしようと思いましたか。

--

5 お家の人から

--

6 先生から

--

## 小学校 第4学年 食に関する指導事例

指導者 T1 学級担任  
T2 栄養教諭

主題 1日のスタートは朝ごはんから

本時のねらい

- 朝食の大切さを理解し、自ら進んで食べようとする意欲をもつ。
- 朝食をしっかり食べるには、生活リズムを整えることが大切であることを理解する。

展開

	学 習 活 動	指 導 上 の 留 意 点	資 料	指 導 者
導 入	○生活習慣調査から、朝食についての、クラスの実態を知る。	・クラスの実態を知らせる。	山梨県新体力テスト・健康実態調査結果	T1
	○自分の朝食を思い出しながらチェックする。	・自分の朝食について、気付いたことを発表する。	学習教材 2・3ページ	T2
展 開	○ 朝食の働きを考える。	・ 朝食をとらなかつたり少ししか食べずに登校した日の勉強や体育の時間は、いつものように元気にできたか考えさせる。 ① 体温を上げる ② 1日の活動源 ③ 脳のエネルギー源 ④ 便秘を防ぐ	学習教材 2・3ページ  働きの掲示資料	T2
	○ どんな朝ごはんがいいか考える。	・ 1品だけでなく主食+主菜+副菜+汁物や飲み物の組み合わせがよいことを知らせる。	給食写真 主食・主菜・副菜の食品カード	T2
	○ 朝ごはんをおいしく食べるにはどうしたらよいか考える。	・ 生活習慣が関係することを知らせる。 「早寝・早起き・朝ごはん」	学習教材 3ページ	T1

ま と め	○学習のまとめをする。 ・今日の学習でわかったことを家族に伝えよう。	・時間により発表させる。 ・家に資料を持ち帰り、学習したことを家族に伝えることを確認する。	学習カード	T 1
-------------	---------------------------------------	--	-------	-----

#### 評価

- 朝食の大切さを理解し、自ら進んで食べようとする意欲をもつことができたか。
- 朝食をしっかり食べるには、生活リズムを整えることが大切であることが理解できたか。

## 朝ごはんの大切さについて考えよう。

年 組 ( )

- 1 朝ごはんはどのように食べるのでしょうか。そのわけを書いてみましょう。

- 2 朝ごはんを毎日食べるためには、どのようなことに気をつけたらよいのでしょうか。

- 3 これまでの自分の朝ごはんをふり返って、これからどのようなことに気をつけていこうと思いますか。

- 4 お家の人から

- 5 先生から

## 小学校 第5学年 食に関する指導事例

指導者 T 1 学級担任  
T 2 栄養教諭

主題 1 食分の食事について考えよう

本時のねらい

○栄養バランスのとれた食事の大切さを理解する。

○食べ物の3つの働きが分かり、好き嫌いなく食べようとする意欲をもつ。

展開

	学 習 活 動	指 導 上 の 留 意 点	資 料	指 導 者
導 入	○紙上バイキングをする。	・教材のテーブルに載っている料理から自由に選ぶようにさせる。	学習教材 8・9ページ	T 1
	○選んだ料理と、その料理の組み合わせにした理由を考える。	・自分の選んだ食事について、気付いたことを発表する。	学習カード	T 2
展 開	○主食・主菜・副菜について知り、その組み合わせや量によって栄養のバランスがよくなることを知る。	・食事の基本形態と栄養バランスの関係について知らせる。 ① 主食—米、パンなど おもにエネルギーのもとになる ② 主菜—肉、魚、卵など おもに体をつくるもとになる ③ 副菜—野菜、海藻など おもに体の調子を整えるもとになる	学習教材 10ページ  働きの掲示資料	T 2
	○学校給食では主食・主菜・副菜が組み合わせられ、栄養のバランスのよい食事であることを確認する。	・学校給食では主食・主菜・副菜の量について考えられていることを知らせる。	給食の写真 学習教材 11ページ 主食・主菜・副菜の食品カード 学習カード	T 2



	○自分の食事の様子について考える。	・好き嫌いなく食べる事の大切さについて考えさせる。		T 1
	○主食・主菜・副菜を考えて再度紙上バイキング給食をする。	・1番はじめに選んだ組み合わせとの改善点について気付くようにさせる。	学習教材 12・13 ページ	T 2
ま と め	○学習のまとめをする。 ・自分のバイキングメニューを発表する。	・毎日の生活の中でも実践しようとする意欲をもたせる。	学習カード	T 1

評価

○栄養バランスのとれた食事の大切さが理解できたか。

○食べ物の3つの働きがわかり、好き嫌いなく食べようとする意欲をもつことができたか。

1食分の食事について考えよう	年 組
----------------	-----

○バイキング給食にチャレンジしましょう。

あなたの選んだバイキング給食
その料理を選んだ理由を書いてみましょう。

○今日の給食をふり返ろう。

給食の献立				
主食	主菜	副菜	その他	牛乳
				牛乳
*使われている食品を、黒板を見ながら書き込もう。				
				牛乳

○栄養バランスのとれたバイキング給食を考えよう。

バイキング給食
気付いたことや思ったこと、これからの食生活のめあてを書いてみましょう。

## 小学校 第6学年 食に関する指導事例

指導者 T1 学級担任  
T2 栄養教諭

主題 地域に伝わる料理について大切にしよう

本時のねらい

- 地域の産物や伝承されている郷土料理について理解する。
- 米を中心とした日本の食文化を大切にしていこうとする意欲をもつ。

展開

	学 習 活 動	指 導 上 の 留 意 点	資 料	指 導 者
導 入	○日本の各地には、地域の産物を生かした郷土料理があることを知る。	・気候や風土の特色を生かした料理について知らせる。	学習教材 18ページ	T1
展 開	○自分の地域の産物や料理にはどんなものがあるか考える。	・自分の郷土への関心が向くように考えさせる。 地域の特産品 地域特有の料理 家庭の伝承料理	学習カード 食品・料理カード	T1
	○学校給食の献立表から給食の食材や料理について知る。	・給食に使われている食べ物には、地元の人々が苦労して育てたものがあることを知らせ、給食への関心を高める。 地産地消	給食献立表 給食写真	T2
	○どんな行事食があるのか行事食に込められた思いについて知る。	・昔から伝わる行事食に込められた思いや願い、生活の知恵などについて知らせる。	学習教材 20・21ページ	T1
	○米を中心とした日本の食文化について知る。	・日本食を中心とした食生活を大切にすることを知らせる。	学習教材 22・23ページ	T2

ま と め	○学習のまとめをする。 ・今日の学習でわかった ことを家族に伝えよう。	・時間により発表させる。 ・家に資料を持ち帰り、学 習したことを家族に伝え ることを確認する。	学習カード	T 1
-------------	---	--	-------	-----

#### 評価

○地域の産物や伝承されている郷土料理について、理解することができたか。

○米を中心とした日本の食文化を大切にしていこうとする意欲をもつことができたか。

地域に伝わる料理を大切にしよう	年 組
-----------------	-----

○郷土（生まれ育った土地）でとれる産物にはどんなものがあるでしょう。

--

○学校給食に出てくる地域の産物や郷土料理をみつけてみましょう。

地域の産物	郷土料理

○あなたはこれから日本の食文化について大切にしていきたいと思うことを書いてみましょう

--

○お家の人から

--

○先生から

--